

【新潟】

○ フォーラム等事業の開催

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
新潟県	長岡市	1月28日	2. 継続	要保護児童対策地域協議会の課題検討会を実施。	子どもに携わる関係機関を対象に児童虐待の対応方法を事例を交えて研修。虐待が生じたときの対応について感じてほしい。	事例を使用したグループ検討があり、対応方法の参考になった。	子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	三条市	11月	2. 継続	児童虐待防止に関する専門研修会を開催(関係機関職員対象)	保育所(園)・学校等の代表者及び実務担当者に対する児童虐待対応について周知するために開催している。	児童虐待に関する観察の視点や対応方法、関係機関の役割等虐待の早期発見対応に必要な知識が周知できた。	子育て支援課	0256-45-1123
新潟県	柏崎市	11月1日	2. 継続	児童虐待防止講演会開催。来場者に児童虐待防止推進月間リーフレット、虐待連絡先周知カード、オレンジリボン配布	虐待防止に向け、親子の愛着形成の確立、孤立しない子育て環境の整備等の知識醸成のため、毎年テーマを変えて開催をしている。	講演会参加者のアンケートでは参加者全員が良かったと回答し、愛着や親の在り方について改めて考えさせられた等の感想が聞かれている。	子ども未来部子育て支援課家庭支援係	0257-47-7786
新潟県	新発田市	11月	2. 継続	児童虐待対応研修会の実施(保育園・幼稚園・認定こども園)	虐待の防止や早期発見、早期対応を目的に、子どもとその保護者に適切な支援ができる。また、事案発症時には、組織として対応できるよう体制づくりができる。	現場ですぐに活用できる内容で(園における子どものチェックポイント、子どもへの声掛けの仕方など)園全体で共有したい。虐待を疑う案件が発生した場合は、園で判断することなく通告することが重要であると理解できた。	こども課	0254-22-3030
新潟県	新発田市	12月	2. 継続	児童虐待対応研修会の実施(養護教諭、生活指導、生徒指導担当者向け)	法改正による、学校現場での虐待通告義務について、正しく理解することができる。	学校における虐待の捉え方、通告の判断について知ることができ、ためらいなく通告できるようになった。	学校教育課	0254-22-3030
新潟県	新発田市	10月	1. 新規	児童虐待対応研修会の実施(主任児童委員向け)	主任児童委員からの要望で開催予定。虐待防止や体罰等禁止について正しく理解でき、地域における主任児童委員の役割を理解する。	今後開催予定。	こども課	0254-22-3030
新潟県	新発田市	11月～3月	2. 継続	児童相談所と共催でペアレントトレーニング講座を開催	保護者が、児の特性を知り、児に合った適切な子育ての方法を学ぶことができる。併せて、児相と市、双方の支援力向上及び一層の連携強化を進めるとともに、当該講座の立ち上げにより、児童虐待予防のための保護者支援の資源を創出し、地域の支援体制の向上を図ることを目的とする。	褒めることの良さに気づいた、感情コントロールにヒントを得た、などの声が聞かれ、参加者が楽しんで養育できるように意識がソフトしたり、子ども目線で物事を見たりしようとする姿が伺えた。他者との交流もその気づきや変化の一助となった。	こども課	0254-22-3030
新潟県	小千谷市	11月2日	2. 継続	「虐待的環境にある子どもたち～愛着障害の現れ方～」をテーマに児童虐待防止研修会を開催	関係機関の連携強化、子どもや家庭と接する関係職員のスキルアップ。		健康未来こども課	0258-83-3640
新潟県	十日町市	8月7日	2. 継続	子ども虐待対応研修会(小学校、中学校、特別支援学校職員向け、開催場所:十日町情報館)	虐待の発見や対応について研修会を行い、虐待の早期発見、重篤化予防を図る。	児童虐待の基礎知識や通告義務の法的根拠を再認識することができることも事例を交えてのロールプレイが好評である。	市民福祉部健康づくり推進課母子保健係	025-757-9759
新潟県	十日町市	8月25日	2. 継続	子ども虐待対応研修会(保育園、認定こども園、子育て支援センター等職員向け、開催場所:医療福祉総合センター)	虐待の発見や対応について研修会を行い、虐待の早期発見、重篤化予防を図る。	児童虐待の基礎知識や通告義務の法的根拠を再認識することができることも事例を交えてのロールプレイが好評である。	市民福祉部健康づくり推進課母子保健係	025-757-9759
新潟県	十日町市	11月18日～12月17日	1. 新規	十日町市の児童虐待の現状と事例、民生児童委員に求めること(川西地区民生児童委員向け研修会、開催場所:川西支所)	虐待の発見や対応について研修会を行い、虐待の早期発見、重篤化予防を図る。		市民福祉部健康づくり推進課母子保健係	025-757-9759
新潟県	燕市	調整中	2. 継続	児童虐待予防研修会	子どもにかかわる関係機関職員に対する児童虐待対応について学ぶ。		社会福祉課児童福祉係	0256-77-8186
新潟県	糸魚川市	10月23日	2. 継続	児童虐待防止研修会。今年度はいかに連携公開講座と共催。「子ども虐待を考える～今、私たちにできること～」と題し、市民・関係者向けに開催予定。	例年、関係者向けに研修を開催してきたが、市民も対象に行うのは初めて。広く虐待について考える機会としたい。	開催前のため、特になし。	教育委員会事務局こども課	025-552-1511
新潟県	五泉市	11月15日	2. 継続	虐待予防子育て支援講演会	地域で子育てを支援するという内容の講演会を開催することで子育ての孤立感をなくし、虐待予防に繋げる。		こども課 子育て支援係	0250-43-3911
新潟県	上越市	通年	2. 継続	公・私立保育園長会、地域からの要望による児童虐待に関する説明会講師	保育園長や民生委員など子育てを支援する立場の方々への児童虐待対応研修として実施	当市の児童虐待の現状を知る事ができた。具体的に虐待を発見した時にどのように動けばよいか分かった。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	通年	2. 継続	子どもの虐待予防前講座の実施	園保護者や学校PTA、町内会からの依頼を得て実施。	当市の児童虐待の現状を知る事ができた。身近な所で多くの虐待が起こっている事に驚いた。子どもへの体罰の影響を知る事ができた。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	通年	2. 継続	乳幼児の保護者に対する児童虐待予防の周知啓発(親子コミュニケーション支援にて実施)	乳幼児健診及び市内の園(主に3歳児)の保護者に対して虐待手法によらない望ましい親子コミュニケーションについて学んでもらう。	子どもへの声掛けやしつけ方について具体的に学ぶ事ができた。他の保護者とも子育てについて話し合う事ができた。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	4月	2. 継続	新任養護教諭研修会開催	市教育委員会と連携し、新任職員や市外学校からの転入職員に対し、当市の児童虐待の現状や取組について研修として実施。	当市の児童虐待の現状を知る事ができた。具体的に虐待を発見した時にどのように動けばよいか分かった。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	6月	2. 継続	児童虐待対応についての職員研修の実施(市教委、保健師向け)	市教育委員会や健康づくり推進課等と連携し、当市の児童虐待の現状や取組について研修として実施。	当市の児童虐待の現状を知る事ができた。具体的に虐待を発見した時にどのように動けばよいか分かった。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	7月～12月	1. 新規	子どもの虐待防止ハンドブックダイジェスト版を用いた園・学校職員向け研修	全ての園・学校職員が児童虐待について共通認識を持ち対応するために市内全ての園・学校に出向いて研修を実施。研修資料として市で発行する子どもの虐待防止ハンドブックのダイジェスト版(保存版)を作成し、配布。	当市の児童虐待の現状を知る事ができた。具体的に虐待を発見した時にどのように動けばよいか分かった。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	11月～通年	2. 継続	園長・学校管理職向け研修会の開催	園長会や校長会、教頭会等と連携し、虐待通告後の保護者支援に関し、具体的な方法について、児相と協力し研修を実施予定。	通告後の保護者支援について悩む園・学校管理職が多い事から、事例検討等を用いて研修を行う予定。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	翌年3月	2. 継続	小・中学校養護教諭対象の研修会の開催	学校における児童虐待対応で重要な役割を持つ養護教諭全員に対し、市教育委員会と連携し、毎年児童虐待の対応研修を実施している。	当市の児童虐待の現状を知る事ができた。具体的に虐待を発見した時にどのように動けばよいか分かった。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623

○ 啓発物品作成・配布

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
新潟県	長岡市	10月～	2. 継続	虐待防止月間のポスター・チラシの配布に合わせて要保護児童対策地域協議会のポスター・チラシを配布。	児童虐待を知ってもらうこと、児童虐待に関する相談機関があることを周知する。		子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	長岡市	通年	2. 継続	児童虐待防止啓発及び子育てに関するQ&Aを掲載した「おやこスマイルガイド」を赤ちゃんと相談時に無料配布(その他必要に応じて適宜配布)	子育ての中で生じる疑問・不安を解消してもらう。		子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	三条市	11月	2. 継続	子育て支援情報メールでの周知	虐待防止月間を広く市民に周知するために行っている。	特になし	子育て支援課	0256-45-1123
新潟県	三条市	11月	2. 継続	啓発ポスターの掲示(市役所庁舎内、小中学校、児童クラブ、保育所、保育園、幼稚園、子ども園等)	虐待防止推進月間を広く市民に周知するために開催している。	一般市民も含め、重点的には子どもの保護者が普段訪れている場所に掲示することによって自然に目に入り周知につながっていると考え。	子育て支援課	0256-45-1123
新潟県	三条市	11月	2. 継続	啓発リーフレット配布(保育所、保育園、幼稚園、こども園)	虐待防止推進月間を広く市民に周知するために開催している。	就学前で所属がある乳幼児の全世帯に配布しており周知につながっていると考える。	子育て支援課	0256-45-1123
新潟県	新発田市	通年	2. 継続	全妊婦に配布の「育児の手引書」に「乳幼児揺さぶられ症候群」を掲載	乳児の泣きの特徴について正しく理解し、対応できることで、乳幼児揺さぶられ症候群を防ぐことができる。	新生児期～2か月月訪問で、「事前に児の特徴を知ることができた。安心した。」との声がある。	健康推進課	0254-22-3030
新潟県	新発田市	通年	2. 継続	新生児訪問時に「乳幼児揺さぶられ症候群」についてのチラシを配布	乳児の泣きの特徴について正しく理解し、対応できることで、乳幼児揺さぶられ症候群を防ぐことができる。	新生児期～2か月月訪問で、「事前に児の特徴を知ることができた。安心した。」との声がある。	健康推進課	0254-22-3030
新潟県	新発田市	通年	2. 継続	乳児健診、1歳6か月健診、3歳児健診時に、虐待防止のチラシを配布	あらゆる機会を通じ、虐待防止について、市民周知し、併せて、育児支援となる相談窓口を周知する。	保護者は、体罰はしてはいけないと理解を示してくれる。	健康推進課	0254-22-3030
新潟県	新発田市	8月	1. 新規	市内保育園・幼稚園・認定こども園3歳児に、体罰等防止のチラシを配布	体罰等の禁止について広く周知し、体罰等によらない育児について周知する。	実施直後のため未把握。	こども課	0254-22-3030
新潟県	十日町市	5月	2. 継続	小中学校、特別支援学校及び保育所、子ども園等へ要対協の紹介や通告方法についての文書を配布	要対協窓口及び通告方法の周知を行い、虐待の早期発見、重篤化予防を図る。	特になし	市民福祉部健康づくり推進課母子保健係	025-757-9759
新潟県	十日町市	5月	1. 新規	民生児童委員に児童虐待についてのリーフレットを配布	児童虐待の基礎知識や要対協窓口及び通告方法の周知を行い、虐待の早期発見、重篤化予防を図る。	特になし	市民福祉部健康づくり推進課母子保健係	025-757-9759
新潟県	十日町市	4～3月	1. 新規	乳幼児健診受診者に対し、「愛の鞭ゼロ作戦」のリーフレットを配布	リーフレットを用いてしつけによる体罰の禁止や体罰が子どもに与える影響について周知を図る。	特になし	市民福祉部健康づくり推進課母子保健係	025-757-9759
新潟県	十日町市	7月16日	1. 新規	放課後児童クラブのリーダー会にて要対協の紹介や通告方法についての文書を配布。	要対協窓口及び通告方法の周知を行い、虐待の早期発見、重篤化予防を図る。	新規に実施をしたため、通告後の経過等を知ることができよかったと参加者から反応があった。	市民福祉部健康づくり推進課母子保健係	025-757-9759
新潟県	見附市	11月	2. 継続	市内保育所やこども園、小・中学校の保護者向けに児童虐待に関するチラシを作成して配布する。	保護者に対して児童虐待防止の啓発を行う。	特になし	見附市教育委員会こども課元気子育て係	0258-62-1700

新潟県	糸魚川市	11月中	2. 継続	市内全園、小学校を通じ市の担当課や相談窓口を記載した～愛の鞭ゼロ作戦～リーフレットを全家庭に配布予定。	保護者に向けて虐待防止を図り、子育てに悩んでいる親が相談につながるよう実施している。	親がしつこく称した虐待につながるよう、有効的なリーフレットだと思うため、引き続き配布していきたい。	教育委員会事務局 こども課	025-552-1511
新潟県	糸魚川市	11月中	2. 継続	市内中学生、高校生を対象に市の担当課や相談窓口を記載したウェットティッシュを配布予定。	生徒自身が、親のことや自分のことで悩んだ際にSOSを発信できる相談場所を周知するため、実施している。	数年前から実施しているが、実際に生徒から相談があり支援につながったケースもあり、これからも実施していきたい。	教育委員会事務局 こども課	025-552-1511
新潟県	糸魚川市	通年	2. 継続	保健師による2ヶ月児訪問にて、市の相談窓口が記載されたチラシを配布。	育児に悩んだ際に、気軽に相談できる場所を周知するために実施している。	母子保健との連携のもと実施しているため、一人で悩みを抱えない、虐待防止といった視点で有効だと考える。	教育委員会事務局 こども課	025-552-1511
新潟県	糸魚川市	通年	2. 継続	乳幼児健診にて市の担当課等を記載した～愛の鞭ゼロ作戦～リーフレットと、市の相談窓口を記載したチラシを配布。	乳幼児期の虐待は命に直結するため、虐待防止を図り、子育てに悩んでいる親が相談につながるよう実施している。	母子保健との連携のもと実施しているため、一人で悩みを抱えない、虐待防止といった視点で有効だと考える。	教育委員会事務局 こども課	025-552-1511
新潟県	糸魚川市	通年	1. 新規	市内全園、小・中学校を通じ～体罰等によらない子育てを上げよう！～のリーフレットを配布。	体罰等によらない子育てのための工夫のポイントが記載されているため、保護者に伝わりやすいと思いい、実施している。	子育て支援、虐待防止の観点から有効な役割を果たしていると考え。	教育委員会事務局 こども課	025-552-1511
新潟県	妙高市	9月上旬	1. 新規	市内全認定こども園、保育園、小・中学校に在籍する児童生徒へ児童虐待防止啓発チラシの配布	躰による体罰の禁止の周知及び児童生徒、保護者の意識啓発のため。	特になし	こども教育課 子育て支援係	0255-74-0039
新潟県	上越市	11月	1. 新規	子ども向け虐待防止リーフレットの配布	地元大学生と協力し、子ども向け虐待防止リーフレットを作成し、児童虐待防止月間に配布。	学校カウンセラーや人権教育に関する授業で自らの虐待被害を訴え、一時保護に至る事案があった事から、子ども自身が受けている被害に気づいたり、相談先を知る事ができるよう企画した。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	阿賀野市	7月	1. 新規	市の相談窓口を載せた「体罰等によらない子育てをひろげよう」のリーフレットと係のチラシを市内園児・小学生・中学生の保護者に配布。	体罰等によらない子育てを推進するため。	チラシを見たということでの相談を受けた。	民生部健康推進課 こども若者相談支援係	0250-62-2510
新潟県	阿賀野市	7月	1. 新規	市内の相談窓口を載せた「体罰等によらない子育てをひろげよう」のリーフレットとポスターを公共施設等に掲示。乳幼児健診で配布。	体罰等によらない子育てを推進するため。	特になし。	民生部健康推進課 こども若者相談支援係	0250-62-2510
新潟県	阿賀野市	5月	1. 新規	自治会長会議にて児童虐待対応ダイヤルとDV相談ナビについて周知。	新型コロナウイルスで外出自粛が行なわれる中、児童虐待やDV被害の増加が懸念されたため。	特になし。	民生部健康推進課 こども若者相談支援係	0250-62-2510
新潟県	南魚沼市	4月～6月	1. 新規	市内小中学校、園訪問を行い、要保護児童対策地域協議会の活動や虐待防止に関する取り組みについて周知を図る	要保護児童等の早期発見や小中学校、園との連携強化		福祉保健部子育て支援課 こども家庭支援班	025-773-6822
新潟県	胎内市	通年	2. 継続	妊婦に、メンタルヘルス(産後うつ予防等)に関するリーフレットを配布	産後うつに関する知識の啓発。パパママ学級の案内に同封し、夫婦で話し合っていたく機会とする。	特になし	健康づくり課	0254-44-8680
新潟県	聖籠町	通年	1. 新規	転入世帯を訪問する際、児童虐待防止啓発及び町の連絡・相談窓口を記したチラシを配布	平成30年度から、満15歳までの児童がいる世帯が転入した際、世帯状況の把握や相談窓口のPRを目的とした家庭訪問を行っている。 令和2年度から訪問時に虐待防止啓発と町の連絡・相談窓口を記したチラシを訪問時に配布し、啓発の強化を図っている。	一部の保護者から、子どもへの接し方を気をつけたいとの反応があった。	教育委員会子ども教育課 子ども家庭相談センター	0254-27-7082
新潟県	阿賀町	11月	1. 新規	虐待通告制度、体罰等によらない子育てについて周知啓発を図るチラシを配付	児童保護者への啓発と、地域住民が通報を躊躇するという意見があったため周知するもの。	特になし	こども・健康推進課 こども係	0254-92-5762
新潟県	出雲崎町	11月	2. 継続	生涯学習フェスティバル(健康フェスティバル)にて児童虐待防止のための啓発物品等を配布	子育て世代が多く来場する場を利用し、児童虐待防止のための啓発物品と共に、子育て相談について情報提供することで、より早期に相談に繋がりがり児童虐待を予防することを目的に実施	相談窓口一覧や、虐待とはどういうことなのか等の資料をよく読んでいた方が多いた。自分自身の子育てについて振り返ったり、他のご家庭の心配な情報を提供してくれる方がいた。	保健福祉課 こども未来室	0258-86-5580
新潟県	新潟市	通年	2. 継続	母子手帳交付時に、児童虐待防止啓発用クリアファイルを配付	妊娠・出産・子育ての相談窓口を記載したファイルを作成し、配布。長期間活用が可能なクリアファイルを配布することで、啓発効果の向上を図る。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193
新潟県	新潟市	通年	2. 継続	3カ月健診(股関節検診)時に児童虐待防止パンフレットを配付	股関節検診に来た親などに、子育ての不安を解消する内容や相談窓口を掲載したパンフレットを配付。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193
新潟県	新潟市	10月～11月	2. 継続	就学前健診時に虐待通告先チラシ及び児童虐待防止啓発用クリアファイルを配付	妊娠・出産・子育ての相談窓口を記載したファイルを作成し、配布。長期間活用が可能なクリアファイルを配布することで、啓発効果の向上を図る。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193
新潟県	新潟市	11月	1. 新規	(秋葉区)発達障がいに関するチラシの自治会等の回覧	地域全体の発達障がいへの理解が不足している状況の中で保護者が悩みを抱え、心理的虐待や身体的虐待につながるケースもあつたため、地域全体に理解を広げ周知するためのチラシを作成し回覧する。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193
新潟県	新潟市	通年	2. 継続	(西蒲区)父子手帳「PAPA-NOTE」第2号で、パパの積極的な育児参加を啓発	とくく母親が中心となりがちな育児について、パパの参加を促すことで、母親の負担を軽減し、もって児童虐待防止を図る		こども未来部 こども政策課	025-226-1193

○ 広報誌、テレビ等で周知

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
新潟県	-	11月	2. 継続	県ホームページにおいて、児童虐待防止月間及び児童虐待の相談窓口を周知	県民に啓発を促すため、月間期間中の特設ページを開設。		子ども家庭課	025-280-5926
新潟県	-	11月	2. 継続	新聞広告欄において、児童虐待防止に係る啓発及び相談先を掲載	県民に啓発を促すため、新聞広告欄において相談先を紹介。		子ども家庭課	025-280-5926
新潟県	-	11月	2. 継続	県内向け子育て応援情報雑誌において、児童虐待防止に係る特集記事を掲載	広告会社からの協力を得て、子育て応援情報雑誌内に特集記事を掲載。		子ども家庭課	025-280-5926
新潟県	-	11月	2. 継続	児童虐待防止に係る啓発のため、県庁舎前に横断幕を掲げる	県民に啓発を促すため、月間期間中に横断幕を掲げる。		子ども家庭課	025-280-5926
新潟県	-	11月	1. 新規	WEB広告により児童虐待防止月間及び児童虐待の相談窓口を周知	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、昨年度まで実施していたイベントにおける啓発展示等は取りやめ、広告会社への委託契約によりWEB広告による広報啓発を実施予定。		子ども家庭課	025-280-5926
新潟県	長岡市	11月	2. 継続	市政だよりで児童虐待防止月間の標語・オレンジリボンや市の相談窓口等を掲載	児童虐待のことを知ってもらうこと、相談窓口等の周知を行い相談につながる。		子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	三条市	11月1日～11月15日	2. 継続	広報誌での周知	虐待防止推進月間を広く市民に周知するためにやっている。	特になし	子育て支援課	0256-45-1123
新潟県	三条市	11月	2. 継続	FMラジオ放送での周知	虐待防止推進月間を広く市民に周知するためにやっている。	特になし	子育て支援課	0256-45-1123
新潟県	柏崎市	11月	2. 継続	市ホームページにて児童虐待に関する知識・連絡先の啓発	児童虐待早期発見・適切な支援介入を図るため、広く児童虐待に関する知識の普及と連絡先の啓発を行っている。	市民からの虐待相談の統計	子ども未来部子育て支援課家庭支援係	0257-47-7786
新潟県	新発田市	7月、11月、2月	2. 継続	広報誌及び子育て世代向けの通知メールで児童虐待防止推進月間や相談窓口を掲載	あらゆる機会を通じ、虐待防止について、市民周知し、併せて、育児支援となる相談窓口を周知する。	一般市民からの通告が少数ではあるが、みられるようになってきている。若い世代に限らず、広く市民周知している効果と考える。	こども課	0254-22-3030
新潟県	新発田市	通年	2. 継続	市ホームページや子育て応援誌に、児童虐待や相談窓口等を掲載	あらゆる機会を通じ、虐待防止について、市民周知し、併せて、育児支援となる相談窓口を周知する。	一般市民からの通告が少数ではあるが、みられるようになってきている。若い世代に限らず、広く市民周知している効果と考える。	こども課	0254-22-3030
新潟県	小千谷市	10月25日	2. 継続	10月25日発行の「広報おちや」及び市のホームページに虐待防止月間の記事を掲載	虐待防止月間にちなみ、地域ぐるみでの子どもの見守りに関して啓発。「189」の周知。		健康未来こども課	0258-83-3640
新潟県	見附市	11月	2. 継続	市広報紙において、児童虐待防止月間について周知する	広く市民に児童虐待防止についての啓発を行う。	特になし	見附市教育委員会 こども課元氣子育て係	0258-62-1700
新潟県	村上市	11月1日	2. 継続	市報・市HPにて児童虐待防止について啓発記事を掲載	市民への児童虐待防止の啓発	特になし	こども課子育て政策係	0254-53-3201
新潟県	村上市	6月15日	2. 継続	市報にて児童虐待防止について啓発記事を掲載	市民への児童虐待防止の啓発	特になし	こども課子育て政策係	0254-53-3201
新潟県	村上市	10月1日	2. 継続	市報にて児童虐待防止について啓発記事を掲載	市民への児童虐待防止の啓発	特になし	こども課子育て政策係	0254-53-3201
新潟県	村上市	3月15日	2. 継続	市報にて児童虐待防止について啓発記事を掲載	市民への児童虐待防止の啓発	特になし	こども課子育て政策係	0254-53-3201
新潟県	糸魚川市	11月中	2. 継続	市の広報誌で児童虐待防止月間について周知	市民に向けて、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため。	毎年実施してきた。	教育委員会事務局 こども課	025-552-1511
新潟県	妙高市	11月1日	2. 継続	市報妙高11月号にて特集記事予定	市民に児童虐待防止に対する理解を図るため。	特になし	こども教育課 子育て支援係	0255-74-0039
新潟県	五泉市	11月10日	2. 継続	市広報紙への掲載	児童虐待について啓発する		こども課 子育て支援係	0250-43-3911

新潟県	上越市	通年	2. 継続	各種ハンドブックで虐待相談ダイヤルの周知	こどもセンターで作成するようえつ子育てinfo等の出版物にて当センターの相談窓口を周知	出生届出時及び転入手続き時に配布。上越市の相談先を知る事ができ、また当市の子育て支援制度が1冊にまとまっているので、必要な時に見る事ができる。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	6月	2. 継続	広報誌等にて夏休みに向けての児童虐待の周知	児童虐待について夏休み中の地域の見守りを強化するため、夏休み前に広報上越や地元新聞に掲載し、普及啓発を行う。	当市の児童虐待の現状を知る事ができた。具体的に虐待を発見した時にどこに連絡すればよいのか分かった。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	夏休み～通年	2. 継続	市ホームページで虐待のサインや虐待相談窓口の周知	児童虐待について夏休み中の地域の見守りを強化するため、夏休み前に市ホームページに掲載し、普及啓発を行う。	当市の児童虐待の現状を知る事ができた。具体的に虐待を発見した時にどこに連絡すればよいのか分かった。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	11月	2. 継続	地元ラジオで児童虐待防止月間の周知	児童虐待について当市の現状を市民に知ってもらうため、担当職員が地元ラジオ番組に出演し普及啓発を行う。	当市の児童虐待の現状や相談先に加え、今年度は体罰防止について普及啓発を行う予定。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	11月	2. 継続	市ホームページで児童虐待防止月間の周知	児童虐待について地域の見守りを強化するため、11月に再度、広報上越にて特集を組み、普及啓発を行う。	児童虐待防止月間他、DV被害防止の担当課と連携して普及啓発を行う予定。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	上越市	11月	2. 継続	広報誌にて児童虐待防止月間の周知	児童虐待について地域の見守りを強化するため、11月に児童虐待防止月間についてのページを作成し、普及啓発を行う。	児童虐待防止月間他、DV被害防止の担当課と連携して普及啓発を行う予定。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	阿賀野市	通年	2. 継続	市のホームページに児童虐待についてと相談窓口について掲載。	広く周知するため。	特になし。	民生部健康推進課 こども若者相談支援係	0250-62-2510
新潟県	魚沼市	6月25日	1. 新規	市の広報紙で児童虐待の相談・通告に関する周知を行った。	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、児童虐待のケースが全国的に増加傾向にあるため、相談・通告について周知を行った。	外出を控えてストレスを抱える家庭が多く、一定の効果があつたと思われる。	教育委員会事務局子ども子育て支援センター	025-792-6356
新潟県	魚沼市	9月25日	1. 新規	市で児童虐待対応のパンフレットを作成し、関係機関に配布した。	学校、保育園等の関係機関が連携した児童虐待の早期発見、早期対応に向けてパンフレットを作成し制度を周知した。	児童虐待防止に向け、関係機関の連携を図るために有効である。	教育委員会事務局子ども子育て支援センター	025-792-6356
新潟県	魚沼市	10月10日	2. 継続	市の広報紙で里親制度について周知した。	10月の里親月間に合わせ、里親制度について周知を行った。	里親制度の周知は必要である。	教育委員会事務局子ども子育て支援センター	025-792-6356
新潟県	魚沼市	10月25日	2. 継続	市の広報紙で児童虐待の相談・通告に関する周知を行った。	11月の児童虐待防止推進月間に合わせ、児童虐待防止について周知を行った。	児童虐待防止のための周知は必要である。	教育委員会事務局子ども子育て支援センター	025-792-6356
新潟県	南魚沼市	11月1日	2. 継続	市広報誌で児童虐待に関する市の施策を紹介	予防啓発と周知		福祉保健部子育て支援課 こども家庭支援班	025-773-6822
新潟県	胎内市	11月	2. 継続	市広報誌において「児童虐待防止推進月間」の記事を掲載	児童虐待防止の啓発と、相談窓口の周知。	特になし	健康づくり課	0254-44-8680
新潟県	胎内市	隔月1回	2. 継続	市広報誌において、児童虐待防止に関する記事を掲載	児童虐待防止の啓発と、相談窓口の周知。	特になし	健康づくり課	0254-44-8680
新潟県	聖籠町	4月1日、11月1日	2. 継続	町の広報誌(4月1日号・11月1日号)で体罰禁止の施行、児童虐待防止推進月間及び町の連絡・相談窓口について周知		特になし	教育委員会子ども教育課子ども家庭相談センター	0254-27-7082
新潟県	聖籠町	4月、11月	2. 継続	町のホームページで体罰禁止の施行、児童虐待防止推進月間及び町の連絡・相談窓口について周知		特になし	教育委員会子ども教育課子ども家庭相談センター	0254-27-7082
新潟県	阿賀町	11月	2. 継続	虐待通告制度、体罰等によらない子育てについて周知啓発を図るチラシを配付	児童保護者への啓発と、地域住民が通報を躊躇するという意見があつたため周知するもの。	特になし	こども・健康推進課 こども係	0254-92-5762
新潟県	出雲崎町	11月	2. 継続	町広報誌において、児童虐待防止に関する町の取り組みを周知	月間に合わせ、親子の関わり等虐待に至らないようなヒントを掲載し、相談窓口等も広く周知する	町の児童虐待の取組を知って、更に積極的な周知や啓発活動をする事への期待の声があつた	保健福祉課 こども未来室	0258-86-5580
新潟県	湯沢町	11月8日	2. 継続	町の広報誌で児童虐待への関心と理解を促す記事の掲載、相談・通告先の周知	身近な相談先としての周知が必要であることと、子育てをしている親や地域への相談先としての周知をすることで虐待に至らないようにする	地域へ子育て支援・虐待防止の理解を深める役割を果たしていると考え	子育て教育部 子育て支援課	025-788-0292
新潟県	津南町	11月	2. 継続	町広報誌に、児童虐待防止に関する特集を掲載する。	幅広い年代への、児童虐待防止に関する情報提供を目的とする。		福祉保健課 健康班	025-765-3114
新潟県	弥彦村	10月	1. 新規	村の広報誌に児童虐待防止に関するお知らせを掲載	村民に児童虐待防止について広く周知するため	特になし	教育課子ども教育係	0256-94-1021
新潟県	粟島浦村	11月	2. 継続	村広報誌で児童虐待防止に関する情報を紹介	村民に村の子ども施策・取組に対する理解を図るため、村広報誌で児童虐待防止に関する情報を紹介している。	特になし	保健福祉課	0254-55-2111
新潟県	新潟市	10月	2. 継続	市報に虐待防止の啓発記事を掲載	市報の読者に広く周知する。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193
新潟県	新潟市	11月	1. 新規	(江南区)市政情報モニターにより児童虐待防止推進月間について広報	市政情報モニターの利用について、区内調整のうえ、今年度から広報開始。区役所利用者に広く周知する。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193
新潟県	新潟市	11月	2. 継続	(西蒲区)市政情報モニターにより児童虐待防止推進月間について広報	区役所庁舎来訪者の待ち時間等を利用して、同月間を通じて児童虐待防止を広く周知		こども未来部 こども政策課	025-226-1193

○ 民間企業等とのタイアップ

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
新潟県	長岡市	10月～12月	2. 継続	思春期児童の保護者を対象に児童虐待防止ストレスマネジメント講座を実施予定(3回連続、定員30人;さいわいプラザ)	反抗期に差し掛かる子どもをもつ保護者を対象にストレスを軽減させるために実施。児童虐待の予防、再発防止。	約10年実施しているが毎年大勢の応募がある。理論的な講座であるため、説得力がある。アンケート結果から満足度が高いことが伺える。	子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	長岡市	10月～11月	2. 継続	母親向け子育て支援講座(子どもとの上手なコミュニケーション講座)を実施予定(6回連続講座×2、定員各10名程度、会場:さいわいプラザ)	子どもとの関わりで悩む母親を対象に具体的な方法を教えることで母の悩みを解消する。児童虐待の予防、再発防止。	毎年、定員の倍以上の応募がある。具体的な方法、ロールプレイを実施することで定着につながる。アンケート結果、出席率から満足度が高いことが伺える。	子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	新潟市	6月～3月	2. 継続	市内保育園・幼稚園8カ所等で年長児と保護者、保育士を対象に子どもを暴力から守るためのCAPワークショップを実施	子どもがさまざまな暴力から自分を守るための教育プログラムを、市内保育園・幼稚園で実施。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193

○ その他

都道府県	市区町村	実施(予定)期間・日	新規/継続	具体的内容(テーマ・開催場所等)	経緯/事業目的	評価等	担当部署名	問合せ先
新潟県	長岡市	通年	2. 継続	希望があつた場合、民生委員児童委員協議会(各地区)の定例会に出席し、地域の見守りを依頼し児童虐待防止啓発を行う。	子どもとの関わりがある民生委員・児童委員に対し、児童虐待の現状、対応方法等について周知し、気付きに役立ててもらう。		子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	長岡市	5月～2月	2. 継続	母親支援のグループミーティング(MCG)実施(16回程度、会場:子ども家庭センター)	母が自分の思いを話し、また同じ悩みを抱える母の話を聞くことで少しでも気持ちを楽にしたいと思えるように…。児童虐待の予防、再発防止。	5人程度の参加者(保育有)で実施しており、配慮が行き届いている。参加者の満足度は高い。	子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	長岡市	5月～3月	2. 継続	子育て支援センターに外向きグループミーティングを実施(7か所、27回)	日頃の子育ての悩みや育児ストレスを軽減する。相談の内容により、必要な支援につなげる。児童虐待の予防、再発防止。		子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	長岡市	5月～3月	2. 継続	子育ての駅(屋根付き広場に子育て支援機能が一緒になった施設)に外向き母親等への相談支援を行う(6か所、33回)	日頃の子育ての悩みや育児ストレスを軽減する。相談の内容により、必要な支援につなげる。児童虐待の予防、再発防止。		子ども・子育て課 子ども家庭センター	0258-36-3790
新潟県	三条市	11月	2. 継続	職員等によるオレンジリボン・ピンバッジ着用	市役所全職員がオレンジリボンを着用することによって虐待防止へ関心を持ち市民への周知をはかる。	毎年恒例となり職員においては周知徹底されている。	子育て支援課	0256-45-1123
新潟県	村上市	7月17日	2. 継続	民児協の地区研修会にて児童虐待防止について説明。	児童虐待防止の啓発	特になし	こども課子育て政策係	0254-53-3201
新潟県	村上市	9月11日	2. 継続	民児協の地区研修会にて児童虐待防止について説明。	児童虐待防止の啓発	特になし	こども課子育て政策係	0254-53-3201
新潟県	糸魚川市	4月3日～4月10日	2. 継続	市内全園、小・中学校、高等学校にて要保護児童等への早期対応について依頼文を配付。	虐待等、家庭環境が複雑な児童・生徒を早期発見かつ迅速な支援につなげるため、体制等を明記している。	各所属機関ごとに担当する相談員名や連絡先を記載してあるため、連携が図りやすい。	教育委員会事務局 こども課	025-552-1511
新潟県	糸魚川市	4月6日～4月13日	2. 継続	要保護児童等が在籍する市内園、小・中学校、高等学校から、児童・生徒に関する定期的な情報提供について、依頼文を配付。	文部科学省・厚生労働省の指針に基づき、定期的な情報共有を目的に実施している。(緊急性がある場合はこれに限らない)	学期毎を目安に実施しているため、漏れのない支援や状況確認が実施できている。	教育委員会事務局 こども課	025-552-1511
新潟県	上越市	5月～7月	2. 継続	保育園、幼稚園、こども園、小・中学校、高等学校訪問により児童虐待に関する情報の共有	2か月に1回、進行管理表(書面や電話)で園や学校と情報共有している要保護児童について、年1回担当者が各所属に外向き情報交換を行う。	担当者同士が顔の見える関係で情報共有する事により、連携がしやすくなった。	すこやかなくらし包括支援センター	025-526-5623
新潟県	阿賀野市	10月	1. 新規	民生委員への研修会(市の実態や児童虐待について児童相談所から講義を受ける)	地域の見守りについて伝えるため。	(今後実施の事業)	民生部健康推進課 こども若者相談支援係	0250-62-2510
新潟県	佐渡市	9～11月	2. 継続	民生児童委員協議会での啓発	要対協の構成機関である民生児童委員は地域住民の身近な相談相手であり、パイプ役として大切な存在である。今年度委嘱替えで新しい委員も多くなり、積極的なPRが必要であり、各地区の民生児童委員に対して啓発普及を実施する。	・担当地区で支援の必要な家庭へ対応するために、個別支援会議で支援体制を整えていることがわかった。 ・通学時の見守り、地域の見守りで、子育て世代とつながっていきたい。	子ども若者課 子ども若者相談センター	0259-58-8077

新潟県	南魚沼市	8月3日	2. 継続	学校からの研修依頼を受け児童相談所と共同で教員向け出前講座開催	要保護児童等の早期発見や学校連携強化		福祉保健部子育て支援課 こども家庭支援班	025-773-6822
新潟県	南魚沼市	9月24日	1. 新規	市内高等学校教員を対象に出前講座	要保護児童等の早期発見や学校連携強化		福祉保健部子育て支援課 こども家庭支援班	025-773-6822
新潟県	南魚沼市	10月8日	2. 継続	主任児童員への児童虐待に関する研修会開催	要保護児童等の早期発見や民生委員との連携強化		福祉保健部子育て支援課 こども家庭支援班	025-773-6822
新潟県	南魚沼市	11月1日	2. 継続	市役所本庁舎、分所、公民館等に虐待予防啓発の登り旗を設置	予防啓発と周知		福祉保健部子育て支援課 こども家庭支援班	025-773-6822
新潟県	湯沢町	10月20日	2. 継続	未就園児の保護者を対象に虐待防止のリーフレット配布	虐待につながるしつけと体罰の違いを伝えるとともに子育ての悩みを相談できる場を周知	子育て支援・母子支援・虐待防止といった子どもや母親といった人々のためのリーフレットになるので、虐待防止としての役割を果たしていると考えられる。	子育て教育部 子育て支援課	025-788-0292
新潟県	湯沢町	7月13日	2. 継続	子育て中の親を対象に「アンガーマネジメント」講座の開催	子育て中の親が、しかる・ほめる・クールダウンの具体的な方法が習得できるようになる	具体的な方法がわかり、子育てにいかせる。講座終了後も相談ができてよかった。	子育て教育部 子育て支援課	025-788-0292
新潟県	津南町	通年	2. 継続	出生届出時に行う健診等の説明の際に、乳幼児揺さぶられ症候群や産後うつ等の啓発、相談窓口の紹介等を行う。	出生届の機会に産後うつや相談窓口の説明を行うことにより、早期からの虐待予防を目的とする。		福祉保健課 健康班	025-765-3114
新潟県	津南町	隔月	2. 継続	町子育て支援センターを会場に実施する保健師による育児相談で、虐待予防の啓発をする。	保育所入所前の児を育てる母親を対象に相談を行うことで、育児不安の軽減や育児不安の軽減を目的とする。	「センターの利用中に実際の子供を見ながら相談ができてよかった。」「いろいろな話を聞いてもらえてよかった」等の感想がある。	福祉保健課 健康班	025-765-3114
新潟県	津南町	9～10月、3月	2. 継続	BPプログラムの実施。	第1子を育てる母親の交流の機会とし、子育てに関する知識の普及と、孤立感や育児不安の軽減を目的とする。	「同じ悩みを抱えている母親たくさんいることが分かり、心に余裕が持てるようになった。」「赤ちゃんの成長の先まで感じられるようになり、子どもとともに成長していけたらいいなと思った。」等のアンケート結果があった。	福祉保健課 健康班	025-765-3114
新潟県	津南町	10～11月	2. 継続	NPプログラムの実施。	1～3歳を育てる母親の交流の機会とし、子育てに関する知識の普及と、孤立感や育児不安の軽減を目的とする。	「他の母親と子どものことを話すことができ、困りごとの解決方法も聞くことができてよかった。」「町に引っ越してきて顔見知りがいなかったが、友達をつくることができた。」等のアンケート結果があった。	福祉保健課 健康班	025-765-3114
新潟県	新潟市	11月～12月	2. 継続	市役所本館及び各区庁舎にオレンジリボンツリーを設置し、自由にリボンを持ち帰ってもらう	市役所及び区役所利用者に広く周知する。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193
新潟県	新潟市	11月	2. 継続	市公用車にオレンジリボンキャンペーンマグネットを掲示	市中を走る公用車に掲示し、市民の目に多く触れることにより広く周知する。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193
新潟県	新潟市	10月	2. 継続	大型ショッピングセンターで行う子育て世帯向けのイベントで、啓発チラシ、オレンジリボン等を配付	子育て世帯に向けて、妊娠・出産・子育ての相談窓口を記載したファイルに啓発グッズを挟み込んで配布し、啓発効果の向上を図る。		こども未来部 こども政策課	025-226-1193
新潟県	新潟市	通年	2. 継続	(西区)「にしっこはぐくみLINK」として、育児の不安や孤独感を軽減する子育て情報を、SNS(LINEアプリ)により配信	子育てに関するタイムリーな情報配信による支援が、児童虐待の未然予防に役立つと考えたため。	約90%の方が、「登録して良かった」と評価している。	こども未来部 こども政策課	025-226-1193